

炎症性皮膚疾患のバイオマーカー探索

① アピールポイント



講師
嶋岡 理沙

炎症性皮膚疾患の血液、角質、皮膚組織などを用いて、サイトカインや受容体、マイクロRNAなどの解析を行い、診断および病勢マーカーを探索しています。

② 研究の出口のイメージ

研究で得られた成果を基に、臨床の現場で役立つバイオマーカーを開発することが目標です。
バイオマーカーの開発を行っている企業との共同研究を希望しています。

キーワード

アトピー性皮膚炎、血液、角質、サイトカイン、マイクロRNA

研究内容

私たちは、アトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の血液、角質、皮膚組織などを用いて、サイトカインや受容体、マイクロRNA、その他の細胞活性化マーカーなどの解析を行い、診断および病勢マーカーを探索しています。

これまでにアトピー性皮膚炎患者さんの血液や角質中のTSLP、IL-33、IL-25などのサイトカイン、Toll様受容体などの測定を行い、健常者より発現が高く、重症度と相関することを明らかにしました。また、マイクロRNAは特定のメッセンジャーRNAに結合してその翻訳を調節する役割を持つ短鎖RNAですが、重症アトピー性皮膚炎患者さんで発現が増加するマイクロRNAを見出しました。

アトピー性皮膚炎以外の乾癬、蕁麻疹、薬疹などの炎症性皮膚疾患のバイオマーカーの探索も進めており、臨床の現場で役立つバイオマーカーを開発することを目標にして取り組んでいます。

